

なないろ

nanaïro

なないろの喜びと笑顔を
みなさまにお届けします。

春



vol.8



photo: 佐藤 真人

今号の1枚 デイサービス虹のひろば「ひろば祭り」(3面で紹介)

「ひろば祭り」は、職員・利用者様が1年で一番盛り上がる一大イベントです。
職員の出し物やお祭り用の食事、出店コーナーなどが催されます。



2018年 新年度に向けて

社会福祉法人 虹 理事長／西脇 巽

いよいよ新しい年度が始まります。活動方針や予算など区切りとなるのが年度です。気を引き締めて行きたいと思います。

4月になって心に浮かぶのは石川啄木のことです。何故なら啄木の命日が4月13日だからです。啄木は明治45年4月13日享年僅か26歳で亡くなっています。

啄木が生きた時代、それは戦争の時代でした。明治27年（1894年）の日清戦争、明治37年（1904年）の日露戦争があり、啄木も徴兵検査を受けています。その後の日本は第二次世界大戦・太平洋戦争へと破滅の道に進んで行く歴史をたどります。

今の日本は敗戦後の戦争放棄の平和憲法の下で平和を堅持してきました。ところが安倍内閣はまた戦争を出来る国にしようとしてきました。しかし2年前の参議院選挙と昨年の衆議院選挙で改憲反対平和憲法堅持勢力が強くなり、安倍内閣も当初の様な傲慢な姿勢を

取れなくなっています。それでも何とかして憲法を改悪しようとしていることは見え見えです。

戦争となれば、障害者や高齢者、子供など、弱い立場の人たちは足手まとい、不要な存在になってしまいう危険性があります。ただでさえ先進国の中では最も遅れている日本の社会保障や社会福祉は更に疎かにされてしまいます。

今年、国政選挙はありませんが秋には青森市議会議員選挙があります。ここでも憲法改悪反対平和憲法堅持勢力の拡大強化が望まれます。

日本の高齢化対策として1997年に介護保険法が成立しました。以後ショートステイやデイサービス、グループホーム、その他、様々な高齢者の施設がたくさん開設されてきました。しかしながらこれから更に高齢者が増えて来るのが予想されるという深刻な状態にもかかわらず、昨今色々な理由からせっかく出来た施

設が閉鎖されたりするケースも出現してきました。

経費が掛かり過ぎることや職員を集めることが出来ないことが理由と思われれます。公的支援があまりにも少ないこと、利用者負担が高額なこと、介護士等の人件費が低く抑えられ成り手が少なく、成っても持続出来ず離職してしまうこと、等が大きな問題と思われれます。取り分け現場で働く介護職の待遇改善は急務の課題となっています。今年度もこれらの課題に取り組みることが重要と思われれます。

全てのものを破壊する、取り分け社会福祉を破壊する戦争政策に反対し、平和を守る運動と会わせて社会福祉を守り発展させる運動が今こそ必要となっています。具体的には我が社会福祉法人・虹の経営を守り発展させ、活動内容の充実をはかることが最も大切です。そのために職員と利用者との協力しあって新年度も頑張ってください。



【煎り酒】

いりざけ



「煎り酒」は、室町時代に中々庶民の手に入らなかったお醤油の代用として作られました。塩分もお醤油の約半分です。体にも優しい調味料です。

最初は「お刺身に合う」と聞き、興味本位で購入しましたが、お刺身の生臭みをなくし素材の美味しさを生かす味わいに、「お〜！」と一度で虜になってしまいました。

煎り酒は煮切った日本酒に鰹節・昆布のだしと梅干等を加えて、家庭でも作ることができます。製造会社やレシピにより味が違うと思いますが、我が家では九州に本社を構える出汁屋さんの煎り酒がお気に入りです。

居宅介護支援事業所野いちご
事務／河端 みどり



事業所紹介 デイサービス 虹のひろば

「デイサービス虹のひろば」は、要支援1～要介護5までの要介護認定を受けた人が、入浴・食事・機能訓練・レク等を、通いで利用する介護施設です。

コーヒーの香りと賑やかな挨拶でひろばの1日が始まります。足湯、喫茶コーナー、カラオケボックスにも負けないカラオケ機器、小集団体操等、利用者様が楽しく過ごせるように日々工夫をしています。また、季節ごとの外出レクも合浦公園、ワ・ラッセ、黒石の伝承こけし館等バラエティに富んでおり「楽しかった！来年もいきたい」等の声が職員の励みと原動力になっています。

利用者様と一緒に笑顔で過ごせるように、そして「また行きたい」と思ってもらえるように、職員一同これからも一致団結してまいります。

デイサービス虹のひろば 所長／荒川 早智子

◆ 勤続20年表彰 ◆

地域活動支援センター八甲 管理者兼相談支援専門員 佐藤 織恵

コメント 入社して20年、障害福祉分野で相談業務に携わり、数えきれないほど多くの方々との出会いの中でたくさんの事を経験し学ばせて頂きました。法人や職場の皆様にも日々支えて頂き、本当に感謝しております。これからも、一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。

なないろ7号(2018年1月発行)のお年玉企画に97通の応募がありました。厳正な抽選の結果、下記7名の方が当選しました。当選者には、後日図書カードを送らせていただきます。沢山のご応募、ご意見、ご要望をありがとうございました。



右記7名!
当選者は

1等 図書カード 3,000円(1名様)

● 中村 嘉明 様(青森市大野)

2等 図書カード 2,000円(1名様)

● 齋藤 宏美 様(青森市三内)

3等 図書カード 1,000円(5名様)

- 山内 トキ 様(青森市浜田) ● 今 光由 様(青森市浜館) ● 小友 正治 様(青森市青葉)
- 河端 和利 様(青森市大野) ● 中村 千加子 様(青森市中央)

本誌へのご感想やご意見・ご要望も多数いただきました。その中から、いくつかご紹介いたします。

- 「今月の1枚」と「職員休憩室」、楽しみです。虹の活動や事業内容を知れ、良い創りと思っています。
- この2月に99歳になる母がお世話になっています。職員皆様の親切な福祉サービスに感謝しております。これからも温かな人的サービスに期待しております。「職員休憩室」を楽しんでいます。
- 初めて虹の郷を利用させてもらったとき、玄関の所に「原発反対」のポスター貼りがあり感心した記憶があります。利用するたびにスタッフの皆様の行動に感謝のみです。
- いつも楽しく読ませていただいております。職員の笑顔や暖かい気持ちがビビット伝わってきます。
- 内容が法人内のことが多いので、介護以外の話も載せてほしいと思います。

雪は本当に大変だ



雪片付け

no.7

職員休憩室。

今期の冬は12月から降雪量が多く、雪掻きではなく、いきなり雪片付けからのスタートでした。正月から1月中旬頃までは穏やかでしたが、そこから一転して氷点下と豪雪の世界へ…。風も強く、雪は毎日降り続け、雪寄せの場所も無くなり、新たな雪山を製作する始末。毎年よく降るものだと感心しながら、90分~120分程かけて黙々と雪片付けをしています。

しかしながら雪片付けの後の風呂は気持ちよく、そして何より風呂上がりの

ビールが旨い！(翌日には体のあちこちが痛み出し、湿布薬の出番です。)

雪の多い年も少ない年も、年間の降雪量はほぼ同じといわれているので、2月から少なくなるかも？期待しています。

朝の通勤時、ランプが雪に覆われて見えない車や、屋根に雪がこんもり積もった車を見かけます。とても危険ですので、出発前に車を一回りして、雪を落としてから出発してください。

デイサービス虹のひろば 送迎主任/森 美喜雄

●ご意見・ご要望をお待ちしております。

この機関誌に関する、ご意見・ご要望、読者様の俳句・川柳・その他ご趣味などがございましたら、ぜひ下記までお寄せ下さい。



なないろ vol.8 2018年3月発行(次回発行予定 2018年5月) 発行部数/1,000枚 発行責任者/山崎繁喜

発行元/社会福祉法人「虹」 〒030-0131 青森県青森市問屋町1丁目15-10 TEL 017(738) 1133 <http://nijiweb.net/>

配布先/社会福祉法人 虹 本部・デイサービス虹のひろば・デイサービス虹のひろば新城・ショートステイ虹の郷・ヘルパーステーションはるかぜ
・居宅介護支援事業所 野いちご・地域活動支援センター八甲・自立訓練所 ほのぼの寮・グループホームあおぞら